

29

1月2011

ワークショップ 「島根県のがん対策に学ぶ」

文責：がん・バッテン・元気隊 代表 波多江伸子

全3page

講師 小豆澤伸司さん（島根県）

主催「がん・バッテン・元気隊」

会場 福岡県すこやか健康事業団学術センター会議室

「島根方式」のがん対策

島根県は、がん対策で知られた県です。「島根方式」と呼ばれる独自のやり方で、がん対策にモデル的な役割を果たしてきました。「県がん対策条例」の設置、企業や県民による募金活動でがん対策基金3億7千万円を集めるなど、先進的なこの6年間の活動の詳細を知りたいと、「がん・バッテン・元気隊」の運営委員会で、島根県庁のがん対策担当者に講演をお願いすることにしました。島根県とのつながりがなかったので、直接、担当部署に依頼の電話をしたのですが、「はい、行きますよ」と二つ返事で引き受けていただき、あまりの迅速さと親切な対応にびっくりした次第です。「患者会のお話の方がよろしかったらこちらからご紹介しますが、私ども県庁の人間でもよろしいのですか?」「は、はい。ぜひ県の担当者の方をお願いします」。(初対面のお役所から、こんなフレンドリーな対応をして

もらったのは初めての経験!)そういうわけで、大雪の中を、出雲市からの遠い道のりを来ていただいた島根県庁の小豆澤伸司さん。ありがとうございました。柔軟な仕事ぶりも、謙虚で温かいお人柄もよく分かる講演でした。以下、島根方式のあらましを報告します。



(講師・小豆澤伸司さんと司会の波多江伸子)



(熱心な参加者は、福岡県の患者会スタッフと、がん医療に携わる方々です)



島根県のがん対策は七位一体 (写真は、講演のスライドから借用)

島根県の人口は71万人で、高齢化率29%です。がん診療拠点病院は5病院。
(ちなみに福岡県は人口506万人、高齢化率21%、拠点病院は18病院です)



両県の規模や状況は違いますが、大きくても小さくても、がん対策の姿勢に学ぶものは変わりません。島根県のがん対策専門スタッフは2名。行政は、「七位一体」といわれる下の図のような対策相関図の中でコーディネータ的な役割を果たしています。さすが縁結びの神様、出雲大社のお膝元。小豆澤さんは、がん患者さんや患者団体の現状を知

り、意見や要望を取り入れるために、よくがん患者サロンに足を運んでいます。ちなみに、最近、わが福岡県のがん対策スタッフも「がん・バツェン・元気隊」の運営委員会にときどきいらっしやいますよ。「がん拠点病院院長 × 患者・家族 × 行政」といった組み合わせの意見交換会も行われるとか。

島根県にはがんサロンが25ヶ所も！

がんサロンと患者会はどう違うのかよく分からないのですが、患者会が内輪のしみじみした集いなのに対して、がんサロンはすべての患者さんに開かれているという点が違うのかな～。



患者会に入会するのはちょっと面倒と思っているひとでも、カフェみたいに立ち寄れるサロンは気楽に利用できると思います。

福岡県には、患者会は40団体ほどあるのですが、がんサロンはまだ数えるほどしかありません。患者にとっては患者会もがんサロンも、どちらも必要ですね。



島根県は、人口に比べてがんサロンがたくさんあります。

商店街の中の空き家になったお店を利用したり、病院の中で開催されたりしているそうです。

島根県のがん対策基金

がん対策募金の概要

1. 期間:平成19年7月～22年3月
2. 目標額 目標7億円
3. 募金方法
企業・個人寄付、街頭、募金付き商品など
4. 募金の目的
「がん診療連携拠点病院」の医療機器整備
5. 募金総額(H22.3月末)
約6億7千万円

島根県ではがん対策のために広く企業や県民の協力を得て、**6億7千万**もの募金を集めました。企業も県民も学生も行政もみんなで一致団結してやるところがスゴイですね。

募金付き商品 バナナ基金

バナナ募金の仕組み

バナナ1袋につき **6円** が寄付

輸入商社 (2円)
卸市場 (2円)
小売店 (2円)

消費者負担は、0円
消費者はバナナを買うことで募金に参加

バナナ1袋を買うと、自動的に6円が基金に寄付されることになる仕組みです。企業の協力が得られれば、募金付き商品はとても良い方法だと思います。

こうして集められた基金は、PET-CT装置の購入資金などががん医療に必要な用途に充てられたとか。

福岡県の関係者同士の自己紹介も

小豆澤さんの、うらやましいほどの島根県での協力体制のお話を伺ったあと、わが福岡県での患者会やがん相談支援センターでの活動状況を参加の皆さんに1グループずつ話していただきました。福岡県の筑後ブロックには4つのがん相談支援センターがあるのですが、協働しながら久留米市内の便利な場所に「がんサロンちっこ」を立ち上げた経緯などの報告もあり、お互いとても良い刺激を受けました。

「へー、福岡県でもがんばっているんだ！」と認識できた時間でした。



看護学生、県議会議員、行政議員による街頭募金活動

ワークショップ終了後は、「がんの子供を守る会」の理事でもある張光陽さんのお店「福新楼」で食事会をさせていただきました。30名以上もの方が参加され、お互いテーブルから身を乗り出して熱心に話し合う姿があちこちで見られました。「福岡県の皆さん、とても熱心じゃないですか」と小豆澤さんからも言っていたように、大いに盛り上がった集いでした。「また、こんな会を企画したいね」と「がん・バッテン・元気隊」運営委委員一同も共に喜んだ一日でした。

当日、会場で実施したアンケート調査結果をご紹介します。

当日、会場で実施したアンケート調査結果をご紹介します。